

霧多布岬展望台



展望室内からも岬を觀賞できます！



新しくなった霧多布岬展望台！

琵琶瀬展望台、
霧多布岬展望台が
新しくなりました！

琵琶瀬展望台



幅も広く傾斜も緩やかなスロープ、手すりも有ります



琵琶瀬展望台にはスロープが設置されました

四月より、浜中町の観光名所でもある琵琶瀬展望台と霧多布岬展望台が新しくなりました。
琵琶瀬展望台には、車イスの方でもご利用いただけるように、スロープが設置され、霧多布岬展望台には、天候の悪い日にもくつろげる展望室が設置されました。町内の観光の目玉として期待されます。

平成二十二年度

霧多布湿原学術研究助成決まる

平成二十二年度の霧多布湿原学術研究助成審査会が四月十日に霧多布湿原センターで開催されました。

この助成制度では、ラムサール条約登録湿地である霧多布湿原の「保護と賢明な利用」を図るための基礎的資料の収集を行うため、平成六年度より霧多布湿原などを対象として実施する調査研究に対し研究助成を行っております。

すでに平成二十一年度までは、八十六件（継続調査含む）が採択され研究実施しております。

《研究助成の重点領域》

- 農林水産業と環境保全に関わる自然科学的な調査研究と環境保全・地域振興に関わる人文社会科学的な調査研究
- 霧多布湿原及び浜中町内の自然環境を対象とする自然科学系領域
- 浜中町内の文化、社会、産業などを対象とする人文社会科学系領域

本年度は、十二件の応募があり、審査委員長に辻井達二氏（北海道環境財団理事長）をはじめ、三膳時子氏（霧多布湿原トラスト理事長）、霧多布湿原センター館長他、まちづくり課職員が出席して慎重に審査した結果、次の七件が助成対象として選ばれました。

- 霧多布湿原におけるアカアシシギの生息調査及び河川沿いの鳥相調査
 - ・ 片岡 義廣（特定非営利活動法人トビリカ基金）
 - 霧多布周辺における海産自活性線虫類の生物多様性
 - ・ 嶋田 大輔（北海道大学大学院理学院）
 - ケンボッキ島の植生におよぼすオクマザサ刈取りの影響（平成二十一年度より継続事業）
 - ・ 我妻 尚広（酪農学園大学短期大学部）
 - 自然体験学習による児童・生徒の地域観形成の研究（平成二十一年度より継続事業）
 - ・ 小玉 敏也（入間市立藤沢南小学校）
 - 亜寒帯汽水湖における渡り鳥の排泄による栄養塩再生の解明
 - ・ 関口 郁恵（北海道大学大学院環境科学院）
 - 火散布沼における窒素循環過程の季節変動及びその支配要因の解明（平成二十一年度より継続事業）
 - ・ 石丸 夏海（北海道大学大学院環境科学院）
 - 霧多布湿原における湿地林の分布とその変化
 - ・ 志田祐一郎（野生生物総合研究所）
- 昨年度の研究報告結果については、今後の広報にて詳しく紹介する予定です。